

トムス レクサスRCF リヤバンパーディフューザー

このたびは、トムス リヤバンパーディフューザー（以下リヤディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。（2015年7月現在）

適応車種
レクサス RCF 平成26年9月～

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. スポイラー取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください。
2. スポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
リヤアンダースポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
4. ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
5. 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。
（詳しくは「3M PACプライマーN-200 取扱説明書」を参照の事）
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド（細目以上）で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
6. 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
7. 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後（24時間以内を目安）の洗車は行わないでください。
両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
8. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
9. スポイラー装着により、標準バンパーより全長が約23mm長くなります。
10. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



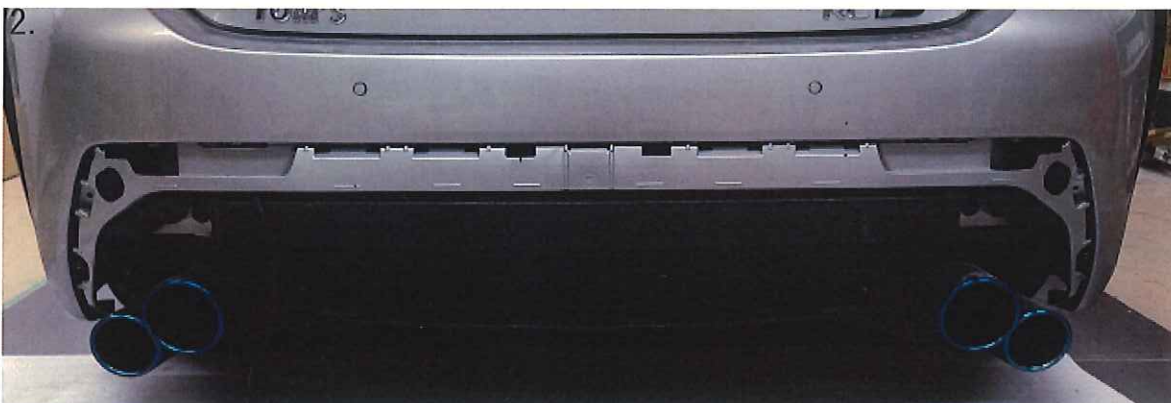
- ①リヤバンパーディフューザー×1 牽引フックカバー左右各1 ②バックプライマー×1 ③ボルトM6×12×6 ④M6ナット×2

取付手順

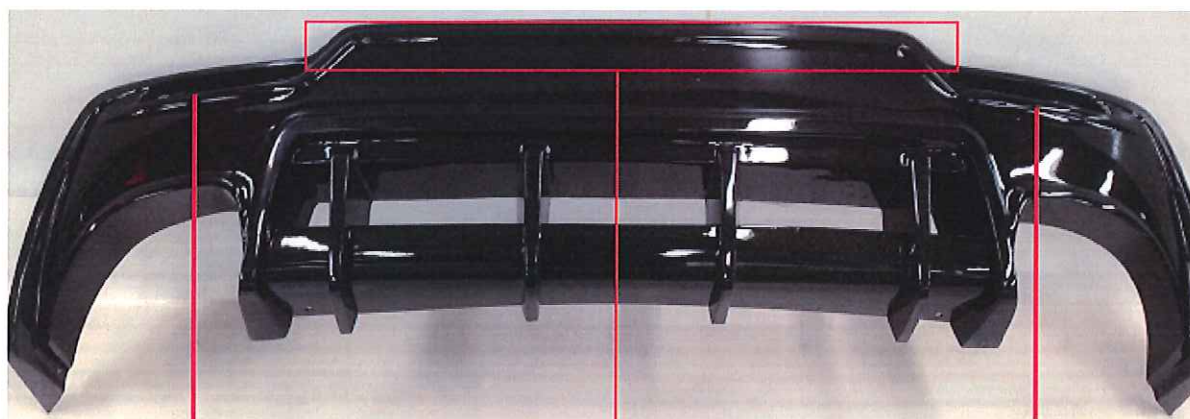


1. 純正リヤバンパカバーを整備書を参考に
に取り外す。
(配線の切断, 損傷に注意する。)

2. 取り外した純正リヤバンパカバーか
らリヤバンパエクステンションSUB ASSY CTR
を取り外す (再使用しない。
クリップスクリューは再使用する。)



3. 取り外したリヤバンパエクステンションSUB ASSY CTRからリフレックスリフレクター
LH/RHを取り外し①リヤディフューザーへ純正タッピングを使用して取り付け。

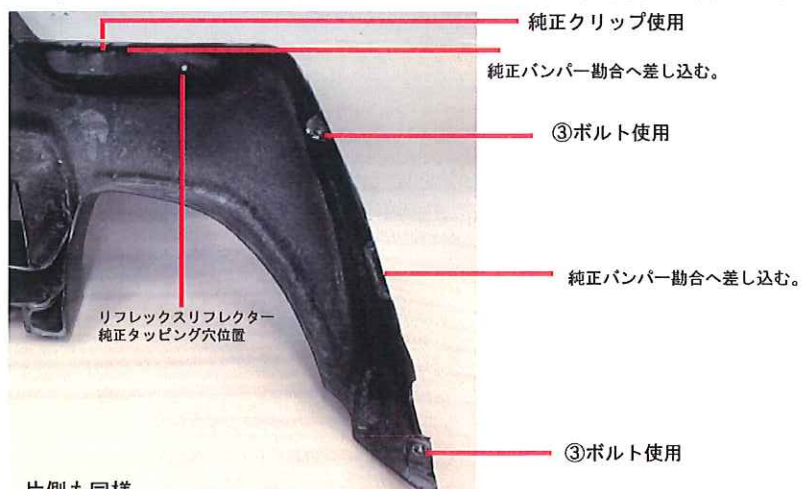


リフレックスリフレクター装着位置

両面テープ貼付け部

リフレックスリフレクター装着位置

4. ①リヤディフューザーを純正リヤバンパカバーへ下図を参照に取付ける。



純正クリップ使用

純正バンパー勘合へ差し込む。

③ボルト使用

純正バンパー勘合へ差し込む。

リフレックスリフレクター
純正タッピング穴位置

③ボルト使用

片側も同様。



5. ①リヤバンパーディフューザーを純正バンパーへ勘合、③ボルト、純正クリップを使用して仮組付けをする。

純正リヤバンパーを車両に取り付ける。

6. 純正リヤバンパーを取り付け終わったら①リヤバンパーディフューザーの両面テープ貼付け箇所を確認するためマスキングテープ等を使用し、マーキングする。
7. 両面テープ貼付け箇所をマーキングしたら純正リヤバンパーを取外す。取り外した純正リヤバンパーから①リヤバンパーディフューザーを取り外し、6. でマーキングした両面テープ貼付け箇所を十分に脱脂処理をし、②プライマー塗布をする。

プライマー塗布後、標準状態で10分以上放置し十分に乾燥させる。



プライマー使用に際しては、3M PAC プライマーN200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間
ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。



塗布範囲は、リヤバンパーディフューザー
端末からはみださないように注意して行う。

8. ①リヤバンパーディフューザーの両面テープ離形紙50mm程剥し、リヤバンパーディフューザー表面側に折り返し、マスキングテープで貼り付ける。
9. 純正リヤバンパーに①リヤバンパーディフューザーを勘合、③ボルト、純正クリップを使用して組み付ける。

純正リヤバンパーを車両に取り付ける。

10. 純正リヤバンパーを車両に装着後、①リヤバンパーディフューザー下面に⑤取付ステーを③ボルト、④ナットを使用し取付ける。

11. 両面テープがバンパーに面あたりしているかどうかを確認後、取付位置を再度確認を行い、両面テープ離形紙を車両中央からタイヤハウス側へ向かって引き抜きながら圧着をする。



両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディに付かない様に気を付けて作業を行う。



両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度
[49N (5kgf/cm²)] で行なう。

両面テープ貼り部
全体をまんべんなく
圧着する。

